

# 100-264

## 問題文

65歳男性。糖尿病性腎症により入院した。血糖コントロールのためのインスリン製剤のほか、以下の薬剤が処方された。

(処方1)

球形吸着炭細粒分包2g    1回1包（1日3包）  
1日3回    朝昼夕食後2時間    7日分

(処方2)

ロサルタンK錠50mg    1回1錠（1日1錠）  
1日1回    朝食後    7日分

(処方3)

フェロジピン錠2.5mg    1回1錠（1日2錠）  
1日2回    朝夕食後    7日分

(処方4)

ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）注射液20μg    1回20μg  
静脈内投与

## 問264

この患者への服薬説明および指導の内容として、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1. 処方1の薬剤は、小腸で吸収されて、血液中の有害物質を吸着して排泄させます。
- 2. 処方2および3の薬剤は、いずれも血圧を下げます。
- 3. 処方2の薬剤で血清カリウム値が低くなることがあります。
- 4. グレープフルーツジュースは、処方3の薬剤の作用を増強する恐れがあります。
- 5. 処方4の薬剤は、毎日注射しないと効果が得られません。

## 問265

ダルベポエチンアルファの薬理作用および副作用に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1. 単球および単球系前駆細胞に作用して、増殖を促進する。
- 2. エリスロポエチン(EPO)のEPO受容体に対する親和性を高める。
- 3. エポエチンアルファと比較して、持続的な赤血球造血作用を示す。
- 4. 血圧低下を起こしやすい。
- 5. 血液粘稠度が上昇し、血栓塞栓症を誘発するおそれがある。

## 解答

問264：2, 4問265：3, 5

## 解説

### 問264

選択肢 1 ですが  
処方1の薬剤（商品名：クレメジン など）は体内で吸収されずに、そのまま糞便に排出されます。小腸で吸収されるわけでは、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい選択肢です。  
ARB 及び Ca拮抗薬です。

選択肢 3 ですが

ARB の代表的な副作用は、高 K 血症です。血清カリウム値が低くなることがある という説明は、不適切であると考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい選択肢です。

選択肢 5 ですが

ダルベポエチンは、最短でも 1 週間に 1 回の投与で用いられる薬です。毎日注射しなければ効果がえられないということは、ありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2,4 です。

## 問265

選択肢 1 ですが

ダルベポエチンは、遺伝子組み換えエリスロポエチン製剤です。赤芽球系前駆細胞に直接作用し造血効果を発揮します。単球および単球系前駆細胞では、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

本薬剤は、エリスロポエチン受容体に直接結合することで作用します。EPO の、受容体に対する親和性を高める という作用ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい選択肢です。

ダルベポエチンの特長は、EPO 製剤のアミノ酸配列の一部を改変すると共に新たな糖鎖を付加させることで、半減期を延長させ持続的な赤血球増加作用を実現した点にあります。

選択肢 4 ですが

造血作用を示す薬であるため、副作用としては高血圧がおこります。低血圧では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 3,5 です。